

2025 U18さくらトップリーグ実施要項

<開催趣旨>

2004年、アテネオリンピックにさくらJAPANが出場してから、北京・ロンドン・リオ・東京と5大会連続でオリンピックに出場してきた。また、最終予選を勝ち抜き、パリオリンピックの出場権を獲得できた。今後、ロサンゼルス・ブリスベンと連続して出場するためにはU18世代の継続した強化が必要である。また、ジュニアワールドカップが2年おきに開催されることになり、より一層、U18世代の強化の必要性を感じている。現在のU18世代はコロナ禍で活動に制約のあった世代であるため、少しでも強化の機会を与えるべく、リーグ戦文化の導入により、実力が拮抗するチーム同士の対戦や、多くの選手への出場機会、また、予定された試合/対戦相手を見据えた質の高い準備など、公式戦の試合数が確保された環境下で競技に取り組むことにより、競技力の向上を目指して設立した。

主 催 (公社) 日本ホッケー協会 強化育成本部 U18 女子
共 催 (公財) 全国高体連ホッケー専門部
後 援 岐阜県教育委員会 各務原市 各務原市教育委員会
(一社) 岐阜県ホッケー協会 (一社) 各務原市ホッケー協会
富山県ホッケー協会 福井県ホッケー協会 滋賀県ホッケー協会
栃木県ホッケー協会 山形県ホッケー協会

主 管 U18さくらTL実行委員会

1 期 日 2025年9月12, 13, 14, 15日

2 会 場 川崎重工ホッケースタジアム (サンドベース)
〒504-0924 岐阜県各務原市下切町6丁目1番地4

3 大会方式 2プールの総当たり予選リーグ、プール順位による順位決定戦

4 参加チーム ・前年度インターハイ優勝チームおよび全国高校選抜大会優勝チーム
2チーム
・スプリングリーグ上位4チーム
(今大会は、前年度インターハイ、全国高校選抜大会の優勝チームが、同一のため、スプリングリーグ上位5チームとする。)

5 競技規則 2025年度(公社)日本ホッケー協会競技規則による。

6 競技方法

- ① 2プールの総当たり予選リーグ、プール順位による順位決定戦を行う。
- ② 試合時間は、1クォーター15分とし、4クォーターを実施。ハーフタイムは10分とする。第1・第3クォーター終了時に3分間のインターバルを設ける(ストップ方式)。
- ③ 上記の規定時間内に勝敗が決しない場合は、全ての試合でSO戦を行う。

- ④予選リーグは、時間内勝利チームに勝点3、S O勝ちチームに勝点2、S O負けチームに勝点1とする。

7 参加資格

- ①チームの構成は、引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、フィジオ2名、選手22名を当日エントリーとする。選手は、第1学年から第3学年とする。選手については事前に登録された者とする。
- ②試合ごとに出場選手を変更することができる。
- ③外国人留学生の参加資格については、1チーム3名以内とする。ただし、試合への出場は2名以内とする。

8 参加申込

- ①参加申込は、別紙参加申込書に所要事項を記入の上、下記期日までに事務局宛申し込むこと。＜メール送信＞
- ②参加料 40,000円
振込先 福井銀行 朝日町支店 普通 6034772
WLSL 会計 吉田 能克
- ③申込期限 2025年7月1日
- ④申込先 〒916-0147 福井県丹生郡越前町内郡41-18-1
U18さくらトップリーグ実行委員会事務局
Eメール katsusaba@yahoo.co.jp

- 9 表 彰 第3位までを表彰する。毎試合、POMを選出する。
個人賞として最優秀選手と敢闘選手を選出する。

10 連絡事項

- ①試合に際しては、各校のユニフォームを着用し、大会期間中は、選手の背番号を変更しないこと。ユニフォームは、各自2着（色の異なるもの、ストッキングを含む）用意し、2着とも試合場に持参すること。
- ②競技中に万一負傷等の事故が起きた場合は、応急処置については主催者側において行うが、その後は、各チームの責任において治療等を行うこと。なお、参加者は必ず健康保険証を持参すること。
- ③参加申込後、やむを得ない理由で参加できなくなった場合は直ちに大会事務局へ連絡すること。

- 11 大会事務局 〒916-0147 福井県丹生郡越前町内郡41-18-1
福井県立丹生高等学校内 吉田能克
TEL 0778-34-0027 fax 0778-34-0405
携帯 090-4375-0262 Eメール katsusaba@yahoo.co.jp